

安らぐことのできる学校・家庭づくり

新津市教育委員会

今、市内各学校は、全体として落ち着いた状況にあります。地域のみなさんと関係機関のみなさんの御尽力の賜であり、心から感謝申し上げます。

これまでの生徒指導に関わる課題状況は、次のようになっています。

- 昨年度は、「冷やかし・からかい」などを含めたいじめの件数が22件あり、各学校保護者・PTAの皆様から、解消につとめていただきました。しかし、今年度1学期に、いじめに関する相談事例がいくつかありました。いじめは、つねに発生するという可能性があり、何よりも早期発見・対応が大切であることを痛感します。
- 1学期末、家に閉じこもりがちな子どもは43人でした。減少傾向ですが、これまでの推移からみると決して安心できません。
- 1月から6月末の非行による補導状況は、万引きが11件ありました。減少していますが、よろこべない数です。近年目立つのは、他人の自転車を無断で乗り回していることで、3人補導されています。



このように、いじめ、非行や不登校の問題は、関係者の精一杯の努力にも関わらず解消・発生を繰り返しています。学校のみ問題ではなく広く地域社会、家庭が関わらなければ解決は不可能です。

この時期に、改めて、いじめや非行などの背景にあるしつけ、子育てのあり方についてお考えいただき、未来を担う子どもたちの健やかな成長を御支援いただきたいのです。

1学期、学校で取組んでもらったこと

- ◎ 子どもたちが、「存在感」「充足感」をもつように、一人一人の役割を考え、参加できる活動・わかりやすい授業を工夫する。
- ◎ 子どもたちの苦しみやつらさを親身になって受けとめ、子どもたちが発する危険信号をあらゆる機会を通してとらえるように努める。また、一人で悩まずに先生や親に相談するようにはたらきかける。
- ◎ 子どもたちとの温かな触れ合い（接する機会）をできる限り多く持つ。
- ◎ 家庭、地域との連携を大切にする。
- ◎ 基本的な生活習慣、生命の大切さを徹底して指導する。
- ◎ 生徒指導の問題は、その時の指導で解決したと速断しない。

